

「道の駅もち米の里☆なよろ」が風連町西町の国道40号沿いにオープン。同じ時期に字徳田にオープンした「イオン名寄ショッピングセンター」は直営店とテナントを持つ大型複合店舗です。徳田地区は1999年(平成11)の「なよろ徳田ショッピングセンター」開設以降、周囲にも量販店が多く進出しています。

2003年(平成20)4月 道の駅・イオンSCのオープン



2006年(平成18)4月1日 名寄市立大学の開学

保健福祉学部には3学科を設置。「ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る」を理念のもと、地域に根差した運営が始まりました。

2006年(平成18)3月27日 市町合併

風連町と旧名寄市が合併し、現在の名寄市が誕生しました。合併協議や住民投票を経て調印が行われ、名寄・風連の2庁舎体制で新市がスタートしました。



2011年(平成23)5月 北の空を見つめる

字日進に北海道立サンピラーパークが開園し、北海道がカーリング場を備えたサンピラー交流館をはじめ工房館などを、市がオートキャンプ場、森の休暇村を整備しました。2011年(平成23)4月にはなよろ市立天文台きたすばるを開設しました。同年12月には北海道大学が公開天文台では国内2番目の大きさとなる反射望遠鏡「ピリカ」も併設しました。



- 2006・3・27 風連町と旧名寄市が合併し名寄市が誕生
- ・コミュニティラジオのエフエムなよろ開局
- 2007・10・9 名寄信用金庫と士別信用金庫が合併して北星信用金庫設立
- 2008・4・20 道の駅もち米の里☆なよろ開設
- 2008・5・24 北海道立サンピラーパーク全面開園
- 2009・4・1 北海道名寄産業高等学校開校(北海道名寄農業高等学校と北海道名寄光陵高等学校が統合)
- 2010・3・6 一般国道40号名寄バイパス美深IC供用開始(全線開通)
- 2010・4・12 ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」開館
- 2010・12・16 風連中学校が旧北海道風連高等学校(2010・3・31閉校)校舎に移転
- 2011・7・8 風連本町地区第1種市街地再開発事業全体完工式
- 2013・4・1 駅前交流プラザ「よろーな」開館
- 2015・5・9 名寄市民文化センター西館ENR AYホール開館

名寄市 20 年の歩み

市感染症危機管理本部を設置し、学校休校や施設閉館などの対応が行われました。

給付金支援や公費によるワクチン接種が実施されました。

2020年(令和2)

新型コロナウイルス感染症の影響



2014年(平成26)

医療機能・体制の整備

市立総合病院に新館(精神病棟)とヘリポートが整備されました。

地域救命救急センターの運用が始まり、広域からの救急患者を受け入れています。

2012年(平成24)

市内交通の整備

2012年(平成24)にコミュニティバスの実証運行が始まり、郊外ではデマンドバスの運行が進められました。

2023年(令和5)からはAI活用型デマンドバス「のるーと名寄」の運用が開始されました。



2016年(平成28)

学校の再編

児童生徒数の減少に伴い、市内小中学校の統合・再編が進められました。

2016年(平成28)には名寄南小学校の新校舎が完成するなど、教育環境の整備が行われました。

- 2016・11・18
・JR北海道が宗谷本線などを単独で維持困難と発表
- 2017・2・18
・北の天文字焼きがギネス世界記録に認定される
- 2019・9
・株式会社森駅、日本最北のワイナリー誕生
- 2021・12・2
・王子マテリア株式会社名寄工場生産停止
- 2022・3・12
・JR北海道東風連駅を移設し名寄高校駅と改称
- 2023・4・1
・北海道名寄高等学校と北海道名寄産業高等学校の統合により新しい北海道名寄高等学校開校
- 2023・11・23
・名寄市電子地域通貨Yoroca(ヨロカ)が運用開始
- 2024・4・1
・義務教育学校の智恵文小中学校開校
・名寄市立認定こども園あいあい開設
- 2025・6・28
・名寄市スポーツ協会・風連町スポーツ協会・Nスポーツコミッションが統合し、一般財団法人Nスポーツコミッションなよろ誕生
- 2026・3・27
・風連町と旧名寄市の合併による名寄市が20周年

風連駅前



写真に写る風連農協会館は1962年(昭和37)に竣工し、鉄筋コンクリート造3階建ての大きな建物で、増改築を経て、金融・共済部門のほか、購買や食堂なども営業して、風連の「スーパーマーケット」としても町民に利用されました。風連駅前再開発事業に関連して現在地に移転し、旧建屋は2010年(平成22)に解体されました。跡地は名寄市風連国民健康保険診療所・薬局などになっています。

広報紙が伝えてきた名寄の歩み



2006年(平成18)4月に発行された「広報なよろ」創刊号には、新しい名寄市のスタートや名寄市立大学の開学など、当時の大きな話題が掲載されていました。紙面を見返すと、まちの新たな出発に込められた期待や、その頃の名寄の様子が伝わってきます。

西3条通



写真に写るグランドホテルメープルは1982年(昭和57)5月、西3南8に開業した宿泊・会合施設で、27の客室のほか会議室・宴会場・レストラン・サウナなども備えていました。地上7階建ての建物は、市街地でよく目立ちました。2009年(平成21)4月に営業終了し、跡地は北洋銀行名寄支店が新築移転したほか、名よせ通り商店街の駐車場となっています。

名寄市史 (新市版)

上巻

- 前編 名寄市の姿と歩み
- 第1編 行政
- 第2編 農林
- 第3編 商工
- 第4編 民生

下巻

- 第5編 交通・治水・防災
- 第6編 教育・文化
- 第7編 司法・警察・消防・自衛隊
- 第8編 スポーツ・交流
- 第9編 生活・宗教
- 資料編

発刊日

3月27日(金)

発刊部数

紙版 1,000部
電子版 300部

価格

10,000円(消費税・送料込み)
※名寄市民は8,000円

購入方法

北国博物館窓口

- ・現金
- ・名寄市電子地域通貨「Yoroca」

郵送

- ・現金書留などで前払い後、発送

〒北国博物館
〒096-0063
名寄市字緑丘222番地
☎01654 ③2575



紙版
A4サイズ 928ページ 上下巻 ケース付
電子版
DVD 1枚